



IWASK2024 **Interdisciplinary Workshop for
Advanced Science of Kaon and
related topics**

日時：2024年3月5日 (火) 9:30 - 18:00
場所：理化学研究所 大河内記念ホール

先ごろJ-PARCで生成・分光に成功した K-pp 束縛核に関する一連の研究は、粒子描像があやうくなるほどコンパクトな陽子間距離を示唆し、高密度物質である原子核内におけるハドロンの粒子性と量子性という本質的問題を提起しています。ここで提起された問題は、原子核という舞台においてのみならず、固体凝縮物質中の電子が示す量子相転移とも密接な関係にあります。K中間子研究はハドロン研究の一分野としての位置づけを超え、物質の階層性をまたいだ新たな学際研究へと広がる可能性を秘めています。この好機に、K中間子および関連するトピックをあつめたワークショップを開催し、未来の中間子科学が取り組むべき課題は何か、指針を探る機会としたいと思います。

講演者

松田恭幸、石田勝彦、神田聡太郎、渡邊功雄、藤山茂樹、馬越、橋本直、西隆博、板橋健太、四日市悟、岡田信二、岩崎雅彦 (順不同)

申し込み方法

<https://indico2.riken.jp/e/iwask2024>

問い合わせ先 iwask2024@ml.riken.jp (板橋・藤山・山本)

